

日々の暮らしに

香川芳子 女子栄養大学学長



大学は若い人のためだけにある  
ものではありません。日本には卒業  
後は勉強しないという人も多いよ  
うですが、寿命が延びて80年以  
上も生きる今、若いときに学んだ知  
識だけでは、目まぐるしく変化す  
る社会に対応することはできませ  
ん。海外の大学では、兵役を終え  
た人、子育て中の人、社会人、退  
職した人など、さまざまな分野、  
年齢の人々が自由に学ぶ様子が見  
られます。学内に保育施設もある  
ので安心して子どもを預け、学ぶ  
ことができます。異なる分野や年  
齢の人々と交わる機会は貴重です。  
視野が広がって新しい発想が生ま  
れ、今生きている時代がはっきり  
と見えてくるようになります。そ

して人間の厚みも出てきます。  
近年は夜間部を開講している大  
学は少ないですが、女子栄養大学  
では当初から昼間働いて夜学ほう  
という男女を受け入れています。  
現役の看護師、医師なども学んで  
います。通学できない人のために、  
1960年に社会通信教育を開講  
しました。人間は何歳になっても  
食べなければ生きてはいけません。  
医学や栄養学、食品学など、健康  
や食の分野は日進月歩で進歩して  
います。つねに学んでいないと知  
識は古くなります。この分野の学  
びは自分自身の健康の維持増進は  
もとより、身のまわりの家族や地  
域の人により影響を与え、人々に  
幸せをもたらします。

学びに年齢なし  
健康と食の分野は  
日進月歩で進化します